

【マーケット振り返り】

株式市場は、政府系投資機関による資産運用会社統合計画の報道を受け、国営企業改革への期待から銀行株が上昇しました。一方、米指数算出会社のS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスがインドネシアのフロンティア市場への格下げ可能性を示唆したことから、資源関連セクターは下落しました。インドネシア株式市場は前週末比で上昇しました。

債券市場では、2026年度の財政赤字目標引き上げによる財政悪化懸念や市場区分見直しに関する報道を受け、国債に売り圧力が強まりました。週末にかけてはドル安や原油価格下落等を背景に利回りは低下（価格は上昇）したものの、インドネシア10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

為替市場では、6月の外貨準備高の増加やインドネシア中央銀行（BI）による為替介入継続方針を受けて週前半は堅調に推移しました。その後は、市場区分見直しに関する報道や原油高が重石となり、ルピアは対米ドル、対円ともに前週末比で下落しました。

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移（2024年12月30日～2026年7月10日）



前週

2026/7/3	2026/7/10	変化率
5,875.78	5,924.36	+0.83%

年初来

2025/12/30	2026/7/10	変化率
8,646.94	5,924.36	-31.49%

【債券市場】インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移（2024年12月31日～2026年7月10日）



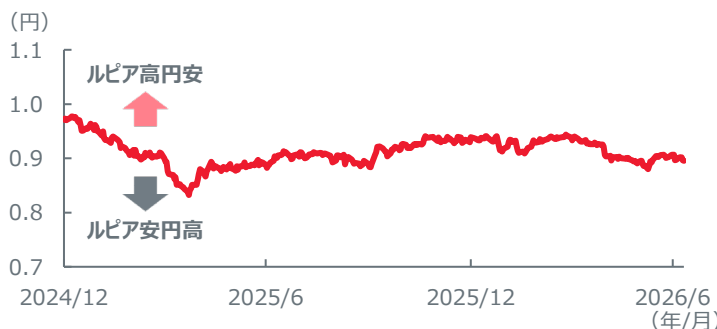
前週

2026/7/3	2026/7/10	変化幅
7.137	7.237	+0.100

年初来

2025/12/31	2026/7/10	変化幅
6.070	7.237	+1.167

【為替市場】インドネシアルピアの対円レート*の推移（2024年12月31日～2026年7月10日） *100インドネシアルピアの対円レート



前週

2026/7/3	2026/7/10	変化率
0.8969	0.8955	-0.16%

年初来

2025/12/31	2026/7/10	変化率
0.9390	0.8955	-4.63%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用するグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人資産運用業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。